

授業科目		科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
機能看護学演習Ⅰ		2単位60時間(30コマ) 演習科目	博士前期1年次 後期開講	☒ ・不可 (下記7参照)
科目責任者	佐藤 愛			
担 当 者	佐藤 愛、角濱 春美、福井 幸子、村上 眞須美、新改 法子、久保 宣子			
1. 科目のねらい・目標				
(ねらい) 様々な対象のニーズに対応する看護技術、看護ケアシステムの開発、看護手法の確立に関連する研究論文を探索し、研究論文のクリティーク、文献レビューの過程を通して、専門領域で必要とされている実践及び研究課題を明らかにする。 (目標) 専門分野に関する文献レビューや研究論文のクリティークを通して、自らの研究課題を明確にする。				
2. 授業計画・内容				
＊この科目は選択した科目担当者が担当します。 【佐藤愛】 母性看護に関する研究論文のクリティーク・プレゼンテーション・ディスカッションを通して、研究課題を明確にする。 【角濱春美】 自らの研究テーマと関わりのある研究、理論について学び、看護の基盤となる科学（看護基礎科学）と実際の研究との関連性について探求する。 【福井幸子】 療養者や家族に対する看護ケア、感染症をコントロールするシステムづくり、及び、看護実践の効果を検証する方法などの文献クリティークとディスカッションを通して、研究課題を明確にする。 【村上眞須美】 看護管理に関する研究課題について、研究論文の探索、文献レビュー、論文クリティークを行い、プレゼンテーションし、ディスカッションを通して、研究課題を明確にする。 【新改法子】 感染症看護に関する研究論文のクリティーク・プレゼンテーション・ディスカッションを通して研究課題を明確にする。 【久保宣子】 国際看護に関する研究論文のクリティーク・プレゼンテーション・ディスカッションを通して、研究課題を明確にする。				
3. 教科書、参考書				
各教員がテキストを指定するか、資料を配布する。				
4. 成績評価方法				
レポートで評価する。				
5. 受講要件				
なし				
6. 社会人学生に対する配慮				
講義の日時は担当教員と相談して決めることができるように配慮する。				
7. その他				
事前に担当教員と連絡を取り、課題等の指示を受けること。 また、オンラインおよびオンデマンドによる開講についても担当教員に事前相談すること。				